

# 関西広域連合が出展

神戸で  
メッセ 試験施設利用呼び掛け

徳島県などが参加する



関西広域連合が、神戸市で5日から始まった「国際フロンティア産業メッセ2013」（同実行委員会主催）に展示ブースを設け、管内の公設試験研究施設の利用などをPRした。

関西に集積している研究施設の特色を広域連合の取り組みとともに紹介

し、企業のビジネスチャンスや製品開発に役立ててもらうのが目的。

構成府県の職員が、工業技術センターの分析装置利用料の県外企業割増制度を管内府県で撤廃するなど、広域連合の産業振興策をまとめた冊子を配った。LED応用製品の性能評価機器が充実している徳島県立工業技術センターなど、各研究施設の得意分野を示したり、フレットを置いて利用を呼び掛けた。

産業メッセは神戸市の神戸国際展示場で6日まで開かれている。全国約320の企業・団体が環境やエネルギーなど多様な分野の先進的取り組みを紹介している。関西広域連合の出展は昨年に続き2回目。

（河野大樹）